



Cisco HX Data Center インターフェイスへのログイン

- [Cisco HyperFlex クラスタ インターフェイスの概要 \(1 ページ\)](#)
- [Cisco HX Data Platform のログイン情報のガイドライン \(2 ページ\)](#)
- [Cisco HX Data Platform の名前、パスワード、および文字 \(3 ページ\)](#)
- [Cisco HX Connect へのログイン \(6 ページ\)](#)
- [コントローラ VM \(hxcli\) コマンドラインへのログイン \(7 ページ\)](#)
- [ストレージコントローラ パスワードの変更 \(9 ページ\)](#)
- [Cisco HX Data Platform インストーラへのログイン \(10 ページ\)](#)
- [HX Data Platform REST API へのアクセス \(11 ページ\)](#)

Cisco HyperFlex クラスタ インターフェイスの概要

Cisco HyperFlex の各インターフェイスは、HX Storage Cluster の情報にアクセスし、アクションを実行する手段を提供します。HX Storage Cluster インターフェイスには次のものがあります。

- **Cisco HX Connect**—モニタリング、パフォーマンス チャート、およびアップグレード、暗号化、レプリケーション、データストア、ノード、ディスク、および VM ReadyClone のタスクのためのものです。
- **Cisco HX Data Platform Plug-in**—モニタリング、パフォーマンス チャート、およびデータストア、ホスト (ノード)、およびディスクのタスクのためのものです。
- **ストレージコントローラ VM コマンドライン**—Cisco HX Data Platform `hxcli` コマンドを実行します。
- **Cisco HyperFlex Systems RESTful API**—オンデマンドのステートレス プロトコルにより、HyperFlex Systems の認証、レプリケーション、暗号化、モニタリング、および管理を可能にします。

追加のインターフェイスには次のものが含まれます。

- Cisco HX Data Platform インストーラ—HX Data Platform のインストール、HX Storage Cluster の展開および拡張、ストレッチ クラスターの展開、HYPER-V クラスターの展開。
- Cisco UCS Manager—HX Storage Cluster のネットワーク、ストレージとストレージアクセス、およびリソースの管理のタスク。
- Hyper-V Manager: すべての Hyper-V ノードと仮想マシンの管理
- Microsoft Failover Cluster Manager: フェールオーバー クラスター ホスト、ロール、および仮想マシンの設定と管理

Cisco HX Data Platform のログイン情報のガイドライン

hxcli コマンドは、ログイン クレデンシャルを要求します。

定義済みユーザ `admin` および `root` のストレージ コントローラ VM のパスワードは、Cisco HX Data Platform インストーラの実行時に指定します。インストール後は、`hxcli` コマンドラインを使用してパスワードを変更できます。

コンポーネント	権限レベル	[ユーザ名 (Username)]	パスワード	注意
HX Data Platform インストーラ VM	root	root	Cisco123 (注) システムは、デフォルトのパスワード [Cisco123] で出荷されますので、インストール中にこれを変更する必要があります。ユーザーが入力した新しいパスワードを指定しない限り、インストールを続行できません。	

コンポーネント	権限レベル	[ユーザ名 (Username)]	パスワード	注意
HX Connect	管理者または読み取り専用	Active Directory の「Desktop Users」グループのメンバー。	ユーザ定義のパスワード。	読み取り専用アクセス権。
		定義済みの admin または root ユーザ。		ドメイン管理者グループのメンバーにも、管理者アクセス権があります。
HX ストレージ コントローラ VM	admin	HX のインストール中に定義されたユーザ。 定義済みの admin または root ユーザ。	HX のインストール中に指定されます。 強力なパスワードが必要です。	ストレージクラスタ内のすべてのノードで一致する必要があります。 インストール後、パスワードを変更するときは hxcli コマンドを使用します。
ハイパーバイザ	「ドメイン管理者」グループのメンバー	ユーザ定義のパスワード	HX のインストール中に指定されます。	-
UCS Manager	admin	設定に依存します。	設定に依存します。	-
ファブリック インターコネクト	admin	設定に依存します。	設定に依存します。	-

Cisco HX Data Platform の名前、パスワード、および文字

印刷可能な ASCII 文字と拡張 ASCII 文字のほとんどは、名前とパスワードに使用できます。HX Data Platform のユーザ名、パスワード、仮想マシン名、ストレージコントローラ VM 名、およびデータストア名に使用できない文字があります。フォルダとリソースプールには文字の例外はありません。

ただし、名前とパスワードを簡素化するために、特別な目的に使用されることの多い以下の特殊文字の使用を避けるようにしてください。

アンパサンド (&)、アポストロフィ (')、アスタリスク (*)、アットマーク (@)、バックスラッシュ (\)、コロン (:)、カンマ (,)、ドル記号 (\$)、感嘆符 (!)、スラッシュ

(/)、小なり記号 (<)、大なり記号 (>)、パーセント (%)、パイプ (|)、シャープ (#)、疑問符 (?)、セミコロン (;)

特殊文字を入力するときは、使用しているシェルを考慮してください。シェルごとに、大文字小文字を区別するかどうか異なります。名前またはパスワードに特殊文字がある場合は、引用符で囲んでください (例: 'speci@lword!')。

HX ストレージ クラスタ名—HX クラスタ名は 50 文字以内です。

HX ストレージ クラスタ ホスト名—HX クラスタ ホスト名は 15 文字以内です。

仮想マシンおよびデータストア名—仮想マシン名、コントローラ VM 名、またはデータストア名には、ほとんどの文字が使用できます。エスケープされた文字は、仮想マシン名、コントローラ VM 名、またはデータストア名として許容されます。

最大文字数：仮想マシン名は、最大 15 文字です。

除外される文字：スナップショットを有効にするユーザ仮想マシン名またはデータストア名に次の文字を使用しないでください。

- アクセント (´)

特殊文字：ユーザの仮想マシン、またはデータストア名に使用できる特殊文字は次のとおりです。

- アンパサンド (&)、アポストロフィ (')、アスタリスク (*)、アットマーク (@)、バック スラッシュ (\)、サーカムフレックス (^)、コロン (:)、カンマ (,)、ドル記号 (\$)、ドット (.)、二重引用符 (")、等号 (=)、感嘆符 (!)、スラッシュ (/)、ハイフン (-)、左波カッコ ({)、左丸カッコ (())、左角カッコ ([)、小なり記号 (<)、大なり記号 (>)、パーセント (%)、パイプ (|)、プラス記号 (+)、シャープ (#)、疑問符 (?)、右波カッコ (})、右丸カッコ ())、右角カッコ (])、セミコロン (;)、ティルダ (~)、アンダースコア (_)

ユーザ名の要件

HX Data Platform コンポーネントに固有なユーザ名を使用できますが、UCS Manager ユーザ名要件を満たす必要があります。

UCS Manager ユーザ名の要件。

- 文字数：6 ～ 32 文字
- Cisco UCS Manager 内で一意にする必要があります。
- 先頭を英字にする必要があります。
- 必須要素：英字（大文字または小文字）。
- 使用可能要素：数字。すべて数字にすることはできません。
- 許可される特殊文字：アンダースコア (_)、ダッシュ (-)、ドット (.)。

コントローラ VM のパスワードの要件

コントローラ VM の root および admin ユーザのパスワードには、次のルールが適用されます。



(注) パスワードに関する一般的な規則：コマンド文字列にパスワードを含めないでください。コマンドは、パスワードの入力を求めることができる状態にします。

- 最小長：10
- 1 つ以上の大文字
- 1 つ以上の小文字
- 1 つ以上の数字
- 1 つ以上の特殊文字
- 新しいパスワードの設定を試せる回数は最大 3 回

コントローラ VM のパスワードを変更するには、必ず `hxcli` コマンドを使用します。Unix パスワードコマンドなどの他のパスワード変更コマンドを使用しないでください。

1. 管理コントローラ VM にログインします。
2. `hxcli security password set [-h] [--user USER]` コマンドを実行します。
変更は、HX クラスタ内のすべてのコントローラ VM に伝達されます。

UCS Manager のパスワードの形式と文字の要件

以下の項では、UCS Manager とパスワードの形式と文字の要件について簡単にまとめています。詳細については Cisco UCS Manager のマニュアルを参照してください。

- **文字クラス**：小文字、大文字、数字、特殊文字。
パスワードは大文字と小文字が区別されます。
- **文字の長さ**：最小 6、最大 80
4 つすべての文字クラスの文字を含む場合は、6 文字以上が必要です。
3 つ以上の文字クラスの文字を含む場合は、7 文字以上が必要です。
1 つまたは 2 つの文字クラスの文字しか含まない場合は、8 文字以上が必要です。
- **開始文字と終了文字**：パスワードの先頭の大文字またはパスワードの末尾の数字は文字数の合計に含まれません。
パスワードが大文字で始まる場合、2 つの大文字が必要です。パスワードが数字で終わる場合、2 桁の数字が必要です。
要件を満たしている例：
 - `h#56Nu` (6 文字)。4 クラス。大文字で始まっていません。数字で終わっていません。

- h5xj7Nu (7 文字)。3 クラス。大文字で始まっていません。数字で終わっていません。
 - XhUwPcNu (8 文字)。2 クラス。大文字で始まっていません。数字で終わっていません。
 - Xh#5*Nu (6 文字としてカウント)。4 つの文字クラス。大文字で始まっています。数字で終わっていません。
 - h#5*Nu9 (6 文字としてカウント)。4 つの文字クラス。大文字で始まっていません。数字で終わっています。
- 連続文字：最大 2。たとえば、hhh###555 は許容されません。
 - 除外される文字：
UCS Manager のパスワードにエスケープ (\) 文字を含めることはできません。

Cisco HX Connect へのログイン

Cisco HyperFlex Connect は、Cisco HX Storage Cluster のモニタリング、およびレプリケーション、暗号化、データストア、および仮想マシンのタスクに対し、HTML 5 ベースでアクセスすることを可能にします。

セッションの概要

Cisco HX Connect への各ログインが、1 回のセッションになります。セッションは、Cisco HX Connect にログインした時からログアウトする時までの間のアクティビティの期間です。セッション中にブラウザの Cookie を手動でオフにしないでください。それにより、セッションもドロップされるためです。ドロップした場合でも、セッションを閉じるためにブラウザを閉じないでください。そのセッションは、引き続きオープンなセッションとしてカウントされません。デフォルトのセッションの最大数には、次が含まれます。

- ユーザごとに 256 の同時セッションが可能です。
- Cisco HX Storage Cluster 全体では、300 の同時セッションが可能です。

始める前に



重要

- 読み取り専用ユーザの場合は、ヘルプに記載されているすべてのオプションが表示されないことがあります。HX Connect では、ほとんどのアクションの実行に管理者特権が必要です。
- ハイパーバイザ上の時間とコントローラ VM 上の時間が同期またはほぼ同期していることを確認します。ハイパーバイザの時間とクラスタの時間のずれが大きすぎると、AAA 認証は失敗します。

ステップ 1 Cisco HX Storage Cluster の管理 IP アドレスを確認します。

個々のストレージコントローラ VM ではなく、管理 IP アドレスの完全修飾ドメイン名 (FQDN) を使用します。

ステップ 2 ブラウザに Cisco HX Storage Cluster の管理 IP アドレスを入力します。

ステップ 3 Cisco HX Storage Cluster のログインクレデンシャルを入力します。

- **RBAC ユーザ** : Cisco HyperFlex Connect は、次のロールに基づくアクセス制御 (RBAC) ログインをサポートします。
 - **管理者** : 管理者ロールを持つユーザには、読み取りおよび変更操作の権限があります。これらのユーザは、次を変更できます: Cisco HX Storage Cluster
 - **読み取り専用** : 読み取り専用ロールを持つユーザには、読み取り (表示) 権限があります。Cisco HX Storage Cluster に変更を加えることはできません。
- **HX 事前定義ユーザ** : Cisco HX Data Platform の事前定義ユーザである admin または root を使用してログインするには、local/ プレフィックスを入力します。例: local/root または local/admin。
local/ ログインで実行したアクションは、ローカル クラスタにのみ影響します。

目のアイコンをクリックすると、パスワードフィールドのテキストが表示または非表示となります。このアイコンは、他のフィールド要素によって見えにくくなる場合があります。それでも、目のアイコンの領域をクリックすると、切り替え機能は動作します。

次のタスク

- Cisco HX Connect に表示される内容を更新するには、更新 (円形) アイコンをクリックします。これによってページが更新されない場合は、キャッシュをクリアして、ブラウザをリロードします。
- Cisco HX Connect からログアウトして、適切にセッションを閉じるには、[ユーザ (User)] メニュー (右上) > [ログアウト (Logout)] を選択します。

コントローラ VM (hxcli) コマンドラインへのログイン

すべての hxcli コマンドは、Cisco HX Cluster 情報を読み取るコマンドと Cisco HX Cluster を変更するコマンドに分かれています。

- 変更のコマンド : 管理者レベルの権限が必要です。例 :

```
hxcli cluster create  
hxcli datastore create
```

- 読み取りのコマンド：管理者レベルまたは読み取り専用レベルの権限で使用できます。

例：

```
hxcli <cmd> -help
hxcli cluster info
hxcli datastore info
```

Cisco HX Data Platform `hxcli` コマンドを実行するには、Cisco HX Data Platform ストレージコントローラ VM コマンドラインにログインします。



重要 コマンド文字列にパスワードを含めないでください。コマンドは、プレーンテキストとしてログに頻繁に渡されます。コマンドからパスワードの入力を求められるまで待ちます。これは、ログインコマンドだけでなく `hxcli` コマンドにも当てはまります。

以下の方法で、ストレージコントローラ VM の Cisco HX Data Platform コマンドラインインターフェイスにログインできます。

- ブラウザから
- コマンドターミナルから
- Cisco HX Connect Web CLI ページから

Cisco HX Connect では直接コマンドのみサポートされます。

- 直接コマンド：1回のパスで完了し、コマンドラインを介した応答を必要としないコマンド。直接コマンドの例：`hxcli cluster info`
- 間接コマンド：コマンドラインを介したライブ応答を必要とするマルチレイヤのコマンド。対話型コマンドの例：`hxcli cluster reregister`

ステップ 1 ブラウザから、DNS 名と `/cli` パスを入力します。

- a) パスを入力します。

例

```
# cs002-stctlvm-a.eng.storvisor.com/cli
```

想定されるユーザ名：`admin`、パスワード：HX Clusterの作成時に定義。

- b) プロンプトにパスワードを入力します。

ステップ 2 コマンドラインターミナルから `ssh` を使用します。

(注) `ssh` ログイン文字列にパスワードを含めないでください。ログインは、プレーンテキストとしてログに渡されます。

- a) `ssh` コマンド文字列を入力します。
- b) 証明書の警告が表示される場合があります。`yes` と入力して警告を無視して続行します。


```
-----  
                !!! ALERT !!!  
This service is restricted to authorized users only.  
All activities on this system are logged. Unauthorized  
access will be reported.  
-----  
HyperFlex StorageController 2.5(1a)# exit  
logout  
Connection to 10.198.3.22 closed.}$ssh root@10.198.3.24  
The authenticity of host '10.198.3.24 (10.198.3.24)' can't be established.  
ECDSA key fingerprint is xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx:xx.  
Are you sure you want to continue connecting (yes/no)?
```

- c) プロンプトにパスワードを入力します。

```
# ssh admin@10.198.3.22  
HyperFlex StorageController 2.5(1a)  
admin@10.198.3.22's password:
```

ステップ 3 HX Connect から HX Connect にログインし **[Web CLI]** を選択します。

- (注) Cisco HX Connect Web CLI からは非対話型のコマンドのみを実行できます。

ストレージコントローラパスワードの変更

インストール後に HyperFlex ストレージコントローラのパスワードをリセットするには、次の手順を実行します。

ステップ 1 ストレージコントローラ VM にログインします。

ステップ 2 Cisco HyperFlex ストレージコントローラパスワードを変更します。

```
# hxcli security password set
```

このコマンドによって、変更がストレージクラスタ内のすべてのコントローラ VM に適用されます。

- (注) 新しいコンピューティングノードを追加し、**hxcli security password set** コマンドを使用してクラスタパスワードを再設定しようとする、コンバージドノードは更新されますが、コンピューティングノードはデフォルトパスワードのままになることがあります。コンピューティングノードのパスワードを変更するには、次の手順を使用します。

コンピューティングノードでパスワードを変更するには：

1. Hyper-V ホストからすべてのユーザ VM をライブマイグレーションします。
2. Hyper-V マネージャからストレージコントローラ VM コンソールを起動し、root ユーザーとしてログインします。
3. **passwd** コマンドを実行して、パスワードを変更します。
4. ログアウトして再度ログインし、パスワードが正常に変更されたことを確認します。

5. `hxcli node add -f` コマンドを実行し、ノードをクラスタに再び追加します。

ステップ3 新しいパスワードを入力します。

ステップ4 **Enter** を押します。

Cisco HX Data Platform インストーラへのログイン

次に、HX Data Platform ソフトウェアをインストールします。



(注) Cisco HX Data Platform インストーラ を起動する前に、ストレージクラスタに含める予定のクラスタにあるすべての Hyper-V ホストがメンテナンス モードであることを確認します。

ステップ1 ブラウザに、HX Data Platform インストーラ がインストールされる VM の URL を入力します。

このアドレスは、前述の項「Deploying HX Data Platform インストーラの展開」から入手します。例：
`http://10.64.4.254`

ステップ2 次のクレデンシャルを入力します。

- ユーザ名 : `root`
- パスワード (デフォルト) : `Cisco123`

注目 システムは、デフォルトのパスワード [`Cisco123`] で出荷されますので、インストール中にこれを変更する必要があります。ユーザーが入力した新しいパスワードを指定しない限り、インストールを続行できません。

EULA を読みます。[I accept the terms and conditions] をクリックします。

右下隅に記載された製品バージョンが正しいことを確認します。[Login] をクリックします。

ステップ3 この HX Data Platform インストーラ ワークフローページには、ワークフローのオプションが 2 つ表示されます。

- [クラスタの作成] ドロップダウンリスト : 標準のクラスタ、ストレッチクラスタ、または Hyper-V クラスタを展開できます。
 - クラスタ展開 —データを提供して、既存の標準的なストレージクラスタにコンバージド ノードやコンピューティング ノードを追加できます。
-

HX Data Platform REST API へのアクセス

Cisco HyperFlex HX-Series System は、コンピューティング、ストレージ、ネットワークの3つのレイヤすべてを強力な Cisco HX Data Platform のソフトウェア ツールと組み合わせた完全内包仮想サーバプラットフォームで、シングルポイントの接続性が得られ、シンプルな管理を実現できます。Cisco HyperFlex システムは、単一の UCS 管理ドメインに HX ノードを追加することによってスケールアウトするように設計されたモジュラシステムです。このハイパーコンバージドシステムでは、ワークロードのニーズに基づいて、統合されたリソースのプールが提供されます。

HTTP 動詞を使用した Cisco HyperFlex システム RESTful API は、HTTP 呼び出しを実行するように構成できる他のサードパーティ製の管理および監視ツールと統合されています。また、オンデマンドステートレスプロトコルを介した HyperFlex システムの認証、レプリケーション、暗号化、モニタリング、および管理を可能にします。この API を使用すれば、外部アプリケーションを HyperFlex の管理プレーンと直接インターフェイスさせることができます。

これらのリソースには URI (Uniform Resource Identifier) を介してアクセスし、これらのリソースに対する操作は POST (作成)、GET (読み取り)、PUT (更新)、DELETE (削除) などの HTTP 動詞を使用して実行します。

REST API は、Python、JAVA、SCALA、Javascript などのさまざまな言語でクライアントライブラリを生成することも可能な Swagger を使用して記述されます。このように生成したライブラリを使用して、HyperFlex リソースを使用するためのプログラムとスクリプトを作成できます。

HyperFlex は、組み込み REST API アクセス ツールである REST エクスプローラも備えています。このツールは、リアルタイムで HyperFlex リソースにアクセスし、応答を監視するために使用します。REST エクスプローラは、コマンドラインから実行可能な CURL コマンドも生成します。

ステップ 1 ブラウザを開いて、<https://developer.cisco.com/docs/ucs-dev-center-hyperflex/> DevNet アドレスにアクセスします。

ステップ 2 [Login] をクリックし、必要に応じてクレデンシャルを入力します。
